

認知症検診の実施について

1 目的

認知症に関する正しい知識の普及啓発や治療方法等に係る情報提供を行い、認知機能検査と検診後のサポートを推進することにより、認知症の早期診断・対応を促進する。

2 事業概要

(1) 対象者

65歳、70歳、75歳、80歳の約7,500人
※50歳以上で、希望者は受診可能。

(2) 検査方法

- ・長谷川式簡易認知スケール（HDS-R）
- ・ミニメンタルステート検査（MMSE）

(3) 受診方法

個別検診

（認知症サポート医等の認知症サポート検診事業実施要綱に記載のある医師要件を満たす医療機関）

(4) 検診受診後の支援内容

地域包括支援センターが検診受診者に対して連絡をし、介護予防事業の案内や医療・介護保険へつなぐなど本人の状況に応じた支援を行う

3 検診の流れ

別紙「認知症検診の流れ」のとおり

4 予算額（案）

歳入 6,724千円

歳出 6,724千円

5 今後の予定

令和7年7月

医療機関への検診の実施方法の説明

令和7年9月

広報たいとう等での事業周知

令和7年12月～

認知症検診の実施

認知症検診の流れ

別紙

